

# 対象犯罪の基準説明できず

## 外務省衆院委で藤野氏質問に

日本共産党の藤野保史議員は21日の衆院法務委員会で、「共謀罪」法案が、従来700近い対象犯罪をあげていたのを277としていた根拠についてたずねました。

「条約の解釈が変わったのか」とただす藤野氏に対し、外務省の水嶋光一審議官は「解釈は変わっていない」と繰り返して、岸田文雄外相は「一般の方々が巻き込まれるのではな

いかなどの指摘を受け、TOC条約5条に定められたオプシオンを使ってこのような法律を作った」などと述べました。

### 「準備行為」前に捜査

衆院法務委員会21日、「共謀罪」法案をめぐる「実行の可能性」「犯罪の準備行為」がなくても、当局が「嫌疑」があると判断すれば任意捜査が可能になることを、法務省の林真琴刑事局長が明らかにしました。民進党の階猛議員へ

### 法務省が答弁

の答弁。

林氏は、共謀の「実行準備行為」が行われていない段階でも、「テロの計画」

ているのかまったくわからず、審議 渉経過などの資料を公開しました。

外務省は従来、国際組織犯罪防止条約(TOC条約)の解釈として「条約上限定できな

# 暴挙重ねる与党 25日の参考人質疑も議決強行

「共謀罪」法案の審議がはじまっている衆院法務委員会21日、鈴木淳司委員長と自民、公明の

事局長が出席し、必要に応じて答弁に立つと明言しました。

議員の質問には、原則として大臣、副大臣が答弁し、質問者の要求に応じて政府参考人(官僚)

で、論点も定めないうまま25日に参考人質疑を行うことも強行議決しました。

日本共産党の藤野保史議員は、度重なる暴挙に激しく抗議し「刑事局長が答弁した後に金田大臣が同じことを答弁して、私の答弁時間をつぶすことにもなっている。このようなことは絶対にやめるべきだ」と述べまし

# ウオッチ 「共謀罪」法案

は、同日の議決により、今後の委員会全てに林刑

## 共産・民進が抗議

また与党は同日、審議が始まってわずかな段階

「大臣に聞いている」と抗議して議場は騒然とな

た。

た。